

# はんだ

## 市議会だより

No.200  
2018.2.1

### 200th Anniversary

HANDA GIKAI

### はんだ 市議会だより

No.1  
2015.

### はんだ 市議会だより

No.191  
2016.5.1



P.2-5  
P.6-7  
P.8  
P.9-10

- 市長施政方針に対する代表質問 P.2-3
- 一般質問、7人が市政を問う! P.3-5
- どうなった? 条例改正等の審議結果 P.6-7
- 政務活動費交付に関する条例可決! P.8
- 政治倫理審査会開催状況 P.9
- 新年度予算案の審議より

(議場にて)



No.50

No.100

No.150

No.1 創刊号

- 一般質問、5人が市政を問う!
- 12月定例会審議結果
- 事業評価について
- 11月臨時議会のあらまし
- 半田市議会の魅力とは?

P.2-3  
P.4-5  
P.6-7  
P.8  
P.9

# 市政を問う

## 一般質問

12月定例会における市政に関する一般質問は、12月5日、6日に行われ、5人の議員が質問に立ちました。各議員の質問と市長を始めとする当局の答弁要旨は次のとおりです。

(質問議員が執筆し、掲載順序は質問順です)

\* 質問、答弁の詳しい内容は会議録でご覧いただけます。市議会ホームページか、半田図書館・亀崎図書館に設置してあります会議録をご利用ください。またYouTubeでもご覧いただけます。



志民ネット  
小栗佳仁 議員

### 骨髄移植のドナー支援充実について

**問** 在住者の白血病等の患者数とドナー登録者数について伺う。

**答** 愛知県の白血病の推計患者数から、人口比により算出した本市の白血病の推定患者数は16人です。ドナー推定登録者数は、316人で登録率は0.6%です。

**問** ドナー募集の推進について伺う。

**答** ドナー登録に関する普及啓発物の公共施設への設置や献血会場等におけるパンフレット等の配布に加え、献血時にドナー登録を受け付けるなど、ドナー登録推進を図っています。

また、市内の高校3年生・半田常滑看護専門学校を対象とする献血セミナーでは、「あいち骨髄バンクを支援する会」の方を講師とする講演会を開催し、移植を受けられた方の生の声により、ドナー登録の大切さを伝えていきます。  
今後、事業所内において、献血と併せてドナー登録をご案内いただき、

登録をご案内いただき、献血とドナー登録を同時実施してまいります。働きかけてまいります。

**問** 妊婦検診時の臍帯血バンク登録を推進できないか伺う。

**答** 出産時に採取されるが、市内に臍帯血を採取できる病院はなく、県内においても限られていことから、臍帯血提供の推進は困難な状況です。

**問** ドナーが安心して提供できる助成制度・休暇制度創設助成について伺う。

**答** 休暇取得や経済的理由により、骨髄等の提供に至らないケースは改善されなければならぬと考えます。国全体の統一された制度により、改善が図られるよう近隣自治体と連携し、市長会等を通じて要望していきます。

また、市ホームページで休暇制度を導入している企業・団体名を紹介するとともに、日本骨髄バンクホームページへのリンクを行うなど、ドナー登録及び提供が適切に推進されるよう普及啓発を図ってまいります。



創造みらい半田  
中村宗雄 議員

### 半田市の将来に向けた責任ある市政運営について

**問** 現時点での新病院移転・建設のスケジュールはどうなっているのか。

**答** 平成33年から実施施設計を行い、平成36年に病院本体建設工事、開院は平成37年になる見通しです。

**問** 新病院建設候補地の検討会議とはどのような方をメンバーとした会議体なのか。

**答** 検討委員は医療関係者、学者、学識経験者、市内各種団体に所属する方10名以内で、4回程度の会議で検討いたします。

**問** 新病院が半田運動公園東附近に移転した場合、半田の都市計画マスタープランに示された「活力創造軸」から外れるが、将来に向けた半田市の都市像についてはどう考えているのか。

**答** 病院がこの軸から外れる事は、賑わいや活力に少なからず影響を及ぼすと考えますが、将来に向けた都市構造や都

市軸に変更はありません。

**問** 新病院を常滑市との市境に建設した場合に、常滑市民病院に経営問題が起ころうの可能性については如何お考えか。

**答** 両院の診療圏や医療機能等が重複、競合する事が予想され、常滑市民病院の経営面に与える影響を懸念しています。

**問** 経営問題を解決すべく、近い将来に常滑市民病院と半田病院との経営統合については如何お考えか。

**答** 将来にわたり良質な医療を安定的、継続的に提供するために、また、両院を連続させていくためにも、連携をより強化する事が重要であると考えております。

**問** 知多半田駅前前は空洞化が進み、中心市街地としてふさわしくない状態が続いています。一つのアイデアとして、知多半田駅前もしくは、これから始まるJR半田駅前の土地区画整理事業に新病院建設を組み込み、中心市街地活性化の起爆剤とする考えは無いのか。

**答** 区画整理事業区域と区域外をまたいで敷地を確保する事は理論上可能ですが、費用と時間の面から実現は困難だと考えております。

市政を問う 一般質問 (質問議員が執筆しています)



公明党 山本半治 議員

運用3年「マイレボはんだ」の活用で市民協働の推進について

スマートフォンを使い地域の課題解決を行う「マイレボはんだ」。全国から多くの視察を受け入れている先進市として、投稿者を増やす具体的な取り組みを行うべきではないか。

防犯パトロール隊や小中学校のPTAの若い世代に対して説明会を実施し投稿者の増加に努めると共に、自主防災訓練や防災講話の参加者また消防団などにも災害情報収集機能の追加を含めて周知していきます。

「マイレボはんだ」を活用した市民により問題解決できる仕組み作りを行うべきではないか。

地域の方々や問題解決に参加する取組みを増やすことが市民協働の推進に繋がると考えますので、仕組み作りに取り組んでまいります。

公的年金受給資格期間短縮（25年から10年）による受給対象者支援について

資格短縮者への年金支給が始まっているが全国的に6割から7割しか受取手続きをしていない。また、10年未満でも任意加入・後納制度・合算対象期間・年金加入記録漏れ期間などをカウントすることで受給資格者となれる可能性がある。日本年金機構からの周知不足を補うために、本市で無年金者救済に向けた広報支援の協力ができないか。

公的年金制度は老後の国民生活に極めて大切な制度です。改正内容や納付期間10年未満の対応などを市報やホームページまた年金機構を招いた説明会などを開いて周知に努めます。

本市から無年金者を減らすために、無年金者救済の専門相談窓口を国保年金課に設置すべきではないか。

無年金者救済のため職員への知識向上を図ると共に、より丁寧な説明に努めるための相談窓口の設置を行っていきます。



日本維新の会 無所属 竹内功治 議員

市に生息、また生息の可能性のある有毒生物の対策を伺う

全国でスズメバチ類は年間約20件、蛇類は約5件の死亡事故がある。市の被害状況を伺う。半田病院への受診者になりませんが、スズメバチ等の蜂類は昨年度41名、今年度10月末で52名、蛇類は昨年度3名、今年度10月末で3名です。

スズメバチ類の毒によるアナフィラキシーショックは、最悪の場合死に至る。半田病院の医療体制を伺う。緊急性を要する治療は救命救急センターにて対応しており、スズメバチ類は症状を緩和する対処療法を実施します。またマムシは血清であるマムシ抗毒素を投与、ヤマカガシは全身の止血作用を失う危険性を防ぐ為の対処法を実施します。

幼稚園・保育園・小中学校における有毒生物の対応を伺う。昨年、今年で児童生徒がマムシに噛まれている被害が2件起きている

為、全教職員と児童生徒への周知と指導の徹底、保護者へ学校メルマガで注意喚起の通知等、再発防止に努めています。

市に生息していると考える特定外来生物のセアカゴケグモの生息状況とその対策を伺う。

平成24年に市内で発見されて以降、既に市内全域で生息していると考えており、昨年度から春の大掃除時に注意喚起のチラシを全自治区へ配布しています。

ヒアリが生息している可能性はあるのか。国内でヒアリが発見されてから衣浦港中央埠頭で職員による目視調査、民間企業から情報収集、市民からの問い合わせ等で固体確認していませんが発見されていません。仮にヒアリに噛まれた際の対応を伺う。

ヒアリもアナフィラキシーショックによる危険性が高い為、症状を緩和する対処療法を実施する事になります。いつヒアリが発見や生息するか分からない。更に注意喚起を強化すべきではないか。あらためて公的施設等に注意喚起のポスターの貼付を考えます。



無所属 山本佳代子 議員

半田市立半田病院の移転問題について

建設候補地の突然の場所の変更でしたが、どの様な理由、経過で変更に至ったのですか。10月30日、愛知県の大村知事による仲裁により、「職員駐車場」案を断念すると発表しましたが、どんな論理の転換があった、決断をされたのか、市民に対して、説明をお願いいたします。

半田病院あり方検討委員会の答申を踏まえ、市職員駐車場を適地として、一定の市民の皆様にも理解を頂いたと思っておりますが、住民投票の実現をめざす動きがあり、住民投票を実施することにより、市民間の感情的ななすり合い、無用な混乱を避けるため、愛知県知事の助言もあり、半田運動公園東側地域等の新たな土地を、早急に検討することにしました。平成30年3月末までには、建設予定地を選定したいと考えています。

移転計画が遅れているのは、初動が遅

れてはいませんか。現在の診療棟が震度6強の地震で、倒壊、崩壊する危険性が高いとされたのは、平成15年。平成25年「半田市立半田病院将来計画策定」から、「あり方検討委員会」まで2年の空白があったのですが、なかなか検討に入らなかったのはなぜですか。

行政全体の計画の中で、小中学校の耐震化、災害時の拠点になる市庁舎の建て替えなどを行ってきた為であり、初動の遅れがあったとは考えてはおりません。

今後のスケジュールはどうなりますか。平成30年3月末までに、仮に半田運動公園を新病院建設予定地として決定した場合、30、31年度に各種調査、都市計画変更手続き、32、33年度で設計業務、34年度終盤から、建設工事にかかり、平成37年度開院になる見込みです。検討会議のメンバーは10名以内です。

半田市立半田病院建設構想は引き継ぎ事項となりますか。現行の急性期を担う病院機能や病床数の変更がなければ、回復期慢性期の医療機関の充足が必要です。

市政を問う

一般質問（質問議員が執筆しています）

# 審 議 結 果

平成29年第6回定例会（12月5日～15日）  
（ ）内は議案の補足説明です。

## ■全会一致の案件

議案番号等	議案名	議決結果
議案70	平成29年度半田市乙川中部土地区画整理事業特別会計補正予算第1号 (職員の人事異動に伴うもの)	原案可決
議案71	平成29年度半田市JR半田駅前土地区画整理事業特別会計補正予算第1号 (職員の人事異動に伴うもの)	原案可決
議案72	平成29年度半田市介護保険事業特別会計補正予算第3号 (職員の人事異動等に伴い、手当等135万5千円を減額するもの)	原案可決
議案73	平成29年度半田市立半田病院事業会計補正予算第3号 (職員異動、入院収益による人件費のほか経費、整備費を補正するもの)	原案可決
議案75	半田市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について (非常勤職員の育児休業到達期間を1歳6か月までから2歳までに変更するもの)	原案可決
議案77	半田市母子・父子家庭医療費の助成に関する条例の一部改正について (条文中「控除対象配偶者」を「同一生計配偶者」に改めるもの)	原案可決
議案78	半田市中小企業従業員退職金等福祉共済条例等の一部改正等について (今後の制度廃止にあたり、条例内容を一部改正するもの)	原案可決
議案79	雁宿公園再整備工事(その1)請負変更契約の締結について (半田球場のバックスクリーン設置工等追加をするもの)	原案可決
議案80	アイプラザ半田の指定管理者の指定について (平成30年4月1日から平成33年3月31日までの指定管理者を特定非営利活動法人半田市観光協会に指定するもの)	原案可決
議案81	半田市成岩地区総合型地域スポーツクラブハウスの指定管理者の指定について (平成30年4月1日から平成33年3月31日までの指定管理者を特定非営利活動法人ソシオ成岩スポーツクラブに指定するもの)	原案可決
議案82	和解及び損害賠償の額の決定について (市道で発生した車両損傷事故の賠償額が決定したものの)	原案可決
議案83	損害賠償の額の決定について (半田市立半田病院において発生した医療事故による損害賠償が決定されたもの)	原案可決
議案84	常滑市道路線の認定の承諾について	撤回※
議案85	平成29年度半田市一般会計補正予算第6号 (人事院勧告による職員給等の増額に対するもの)	原案可決
議案86	平成29年度半田市中小企業従業員退職金等福祉共済事業特別会計補正予算第1号 (人事院勧告による職員給等の増額に対するもの)	原案可決
議案87	平成29年度半田市乙川中部土地区画整理事業特別会計補正予算第2号 (人事院勧告による職員給等の増額に対するもの)	原案可決
議案88	平成29年度半田市JR半田駅前土地区画整理事業特別会計補正予算第2号 (人事院勧告による職員給等の増額に対するもの)	原案可決
議案89	平成29年度半田市介護保険事業特別会計補正予算第4号 (人事院勧告による職員給等の増額に対するもの)	原案可決
議案90	平成29年度半田市立半田病院事業会計補正予算第4号 (人事院勧告による職員給等の増額に対するもの)	原案可決

## ■その他の案件

議案番号等	議案名
報告11	専決処分報告について(施設の管理瑕疵に起因する事故の和解及び損害賠償の額の決定)
報告12	専決処分報告について(施設の管理瑕疵に起因する事故の和解及び損害賠償の額の決定)
報告13	専決処分報告について(施設の管理瑕疵に起因する事故の和解及び損害賠償の額の決定)
報告14	専決処分報告について(施設の管理瑕疵に起因する事故の和解及び損害賠償の額の決定)
	定例監査報告 (企画部・総務部・市民経済部・福祉部・健康子ども部・建設部・議会事務局)

※議案第84号については市当局から議案の撤回の申し出があり、議会で承認しました。

■賛否の分かれた案件

議案 番号等	議案名	議員名														議決結果							
		創造みらい半田							公明党			志民 ネット		日本維新の会 無所属連合			無所属						
		久世 孝宏	成田 吉毅	岩田 玲子	鈴木 幸彦	沢田 清	澤田 勝	中村 宗雄	渡辺 昭司	石川 英之	嶋崎 昌弘	榊原 伸行	山田 清一	鈴木 好美	山本 半治	小栗 佳仁	小出 義一	竹内 功治	中川 健一	山本佳代子	加藤 美幸	新美 保博	
69	平成29年度半田市一般会計補正予算第5号 (総務：普通交付税の交付額の決定に伴う減額補正等) (文教：障がい者等自立支援給付支払、児童手当等支給の変更に伴うシステム改修に対し、業務委託料を歳出するもの等) (建設：市営緑ヶ丘住宅6棟における屋根及び外壁の改修を前倒して実施するもの等)	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	原案可決
74	半田市個人情報保護条例の一部改正について (個人情報の定義の明確化、個人識別符号及び要配慮個人情報の整備等を改正したもの)	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
76	半田市遺児手当支給条例の一部改正について (平成30年4月1日より、遺児世帯に対し支給額を現行の月額2300円から月額2500円に改め、半田市独自で小学校卒業まで支給していた手当を国や県の制度に合わせて支給開始から一律5年とするもの)	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
91	半田市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について (人事院勧告による期末手当を改正するもの)	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
92	半田市特別職員の給与に関する条例の一部改正について (人事院勧告による期末手当を改正するもの)	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
93	半田市職員の給与に関する条例の一部改正について (勤勉手当と住宅手当の改正によるもの)	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

(表の見方) 議は議長(採決に加わらない)、○は賛成の議員、●は反対の議員。

討  
論

議案69号、74号、76号、  
91号、92号、93号に反対

山本佳代子議員

議案第69号一般会計補正予算に個人番号カード交付事業、半田市遺児手当システムに改修料が含まれている為。第74号は、個人識別符号等明確化し、定義づけるもので、個人のプライバシーにかかわる改正で、反対。第76号は、半田市遺児手当は従来どおりの施策を続けるべき。93号は住居手当の一律支給をやめる事に反対。

議案76号に賛成

鈴木幸彦議員

本条例改正は、対象者に対して給付金支給を中心とした施策から、ひとり親家庭の自立支援対策を重視した政策への転換であり、子育て支援政策の後退ということではない。支給月額の引き上げ、支給期間の上限を国や県、近隣他市町の制度に合わせて一律5年とするのも、限られた財源の中で扶助費の抑制という観点から考えると賛同できる。

議案76号に反対

加藤美幸議員

半田市遺児手当の支給をこの4月から一律に5年間で打ち切り、小学校卒業までの延長期間をなくすのは、多くのひとり親家庭の子どもや保護者に対し配慮を欠くものであり、代わりに力をいれるという自立支援対策事業の効果が不明確であることから、この条例改正に反対します。



加藤美幸議員は平成29年12月11日に、新美保博議員は平成29年12月12日に会派創造みらい半田を脱会しています。

市民の皆様の大切な税金を有効に使うために…

## 半田市議会 事業評価を行いました

10月に行った事業評価の審査結果及び市長からの回答の一部を公表します。

### (総務委員会所管分)

個別施策名	協働に対する理解の促進
施策内容	・協働によるまちづくりの基本理念と市民協働を進めるためのルールを広め、協働に対する理解の促進に努めるとともに、市民と行政が共に考え、決定し、行動する取り組みを進めます。
行政への提言	①市民協働を進めるためのルールについて市民は十分に理解していないため、もう一度原点に立ち返り、協働に対する理解の促進に努めるとともに、市民協働の活動をさらにステップアップさせることが必要である。 ②市民協働はマンパワーであるので、人手不足を感じる市民協働課職員を増やすべきではないか。
市長からの回答	①平成30年度中に、協働事業の実践事例をとりまとめ情報共有を図ります。また、まちづくり協働フェスタ等で情報共有に努めます。予算は市民協働推進事業費で対応します。 ②今後の事業内容を精査し適正な人員配置を図ります。地域担当職員との連携を図り施策推進に努めます。

個別施策名	広報活動及び情報提供の推進
施策内容	・市政に関する情報、市民生活や市民活動に関する情報を広報紙、インターネット、ケーブルテレビなどの多様な媒体を利用し、迅速かつ詳細に提供します。 ・市政に関する情報の積極的な提供により、市政への関心と参加意識の醸成を図ります。
行政への提言	①市政に関する情報量や意識が担当部署により異なることなく、積極的な情報提供が必要である。 ②一方的な情報提供にならないように、市民がどのように受け止めているか情報をフィードバックし、発信内容や方法の改善を図る必要がある。市報においては市民が投稿できる枠組みを設けてはどうか。
市長からの回答	①それぞれの分野において、事業規模に合わせた適切な情報提供を行っていると考えています。今後も必要な情報を積極的に提供していきます。 ②市報においては、平成30年度に毎号コメントを募集する欄を設けます。

個別施策名	交通安全教育の推進
施策内容	・子どもたちを交通事故から守るため、幼稚園、保育園、小中学校、高校で交通安全教室を開催します。 ・高齢者宅を訪問し交通安全指導を実施するとともに、高齢者を対象とした交通安全教室を開催します。 ・自転車損害賠償保険等の加入、自転車交通ルールの遵守を促進します。
行政への提言	①高齢者の交通安全教室や講習は、加害者となる運転者としてのものを加え、さらに充実させる必要がある。 ②運転免許証返納推進活動を、コミュニティバス運行のタイミングにあわせて計画すること。 ③名古屋市などが行っている、自転車損害賠償保険の義務化に向けて調査すべきである。
市長からの回答	①各地域での交通安全教室等でも、運転者としてのマナーや交通ルールなどを内容に取り入れます。 ②免許自主返納の促進は交通事故を未然に防ぐ方法の一つと考え、補助等の導入について進めたい。 ③自転車損害保険の種類の把握と、近隣市町の状況について調査します。

個別施策名	時代に即した柔軟な組織づくり
施策内容	・社会情勢の変化に伴う市民ニーズに対して、的確かつ柔軟に対応でき、わかりやすい組織づくりに努めます。 ・緊急の課題や総合的な課題に対してはプロジェクトチームを活用し、横断的に調整・対応します。
行政への提言	①的確に対応できる柔軟な組織体制。プロジェクトチームを活用した横断的な組織体制の確立をすること。 ②組織体制づくりやプロジェクトチームは見える化し、内規作成、経過、結果、成果などを情報公開する。 ③すぐやる課の早期設置。
市長からの回答	①今後も組織体制の編成（機構改革）を行います。チーム活用で庁内横断的な組織体制で取り組みます。 ②29年度中にプロジェクトチームの設置基準や運用方針等を作成します。 ③現在、機構に捉われない形での人事配置や業務内容を調整しています。

### (文教厚生委員会所管分)

個別施策名	地域課題の共有と発掘
施策内容	・地域の福祉課題について、地域住民が中心となり、行政、社会福祉協議会、関係機関と情報共有し、問題を解決するための場である「ふくし井戸端会議」への住民参加を促進します。
行政への提言	①「ふくし井戸端会議」の参加者が固定化しているため、テーマについては世代別の課題設定をして開催し、住民参加を促進させる必要がある。
市長からの回答	①従来方式では限界を感じる地区もある為、開催方式の変更（開催場所固定、定期開催ではなく、地区特性に合わせた方式（場所、日時、内容）を工夫します。）

個別施策名	地域社会への参加の促進
施策内容	・老人クラブやシルバー人材センターなどの高齢者が社会参加する場や活動の活性化を図り、地域活動や就業による地域社会への高齢者の参加を促進します。
行政への提言	①老人クラブに魅力を感じていない元気なシニア世代の活躍の場を模索すること。 ②非会員が参加してみようと思える仕掛け、受け入れ態勢が不足している。
市長からの回答	①「げんきスポット事業」を行い参加だけでなく、担い手としても活躍しています。 ②役員、常任幹事を中心に「理念」を策定し、取組みについても検討していきます。

個別施策名	学校・家庭・地域との連携の推進
施策内容	・地域の優れた知識、技能を有する人材を活用し、多様な知識や経験を学ぶことができる機会を増やします。 ・自治区やPTAを始め、市民活動・スポーツ団体と学校・家庭がともに活動する場を設け、相互交流を促進します。 ・小1プロブレムや中1ギャップなどを解消するため、幼稚園と小学校、小学校と中学校や地域の高校との連携を図り、学校間交流を推進します。 ・保護者や地域住民で構成する学校運営支援協議会により、地域と学校の連携を深めます。
行政への提言	①今後のコミュニティスクール化を見据えて、学校ボランティアの充実が必要。 ②学校から地域へ情報発信し、学校へ貢献したいという意欲向上を図る。
市長からの回答	①学校と地域をつなぐコーディネーターを配置し、動員を図ります。 ②「学校だより」等を活用し情報発信と共に、学校運営支援協議会委員の充実を図ります。

### (建設産業委員会所管分)

個別施策名	回遊性のあるまちづくり
施策内容	・回遊性向上のため、周遊ルートを整備や飲食・みやげ物販売・休憩施設の充実を図ります。 ・点在するまちの魅力や歴史や文化のストーリー性を持たせて情報発信するとともに、遊歩道や交通網などの整備を進めます。
行政への提言	①事業目的と将来ビジョンを早急に明確にする。 ②市内事業者へのヒアリング等を実施し「観光客のニーズ」と「市内事業者のサービス」のマッチング。 ③観光資源の発掘とソフト事業を進めるための専門性の高い民間事業者（プランナー）の活用。
市長からの回答	①具体的施策等について、より明確にできるよう努めます。 ②半田商工会議所にアンケート結果等を伝え協議し、観光客にあったサービスの向上に努めます。 ③やりません。まずは市内観光関連事業者と情報を共有しながら連携した事業を展開していきます。

個別施策名	担い手の育成
施策内容	・認定農業者の育成・支援や新規就農者の確保を図り、効率的かつ安定的、持続的な農業経営を促進します。
行政への提言	①新規就農の儲かる農業の仕組み（所得の明示、農地の確保、生産物の販売先の確保などのビジネスモデル）を示し、新規就農者を募る。 ②新規就農者が生産した農作物等の給食センターやJAでの買い取り制度。 ③市内定住も視野に入れた市内外の人向けの新規就農者募集のPR活動。
市長からの回答	①JAとタッグを組んで生産物の販売先などを提示できるような仕組みづくりに取り組むために、現在JAと協議中です。 ②新規就農者が生産する農作物等は、品質と生産量が安定しにくく、給食で取り扱うことは困難です。 ③JAや半田農業高校と連携し、市内定住も視野に入れた新規就農者確保のPR活動を行っていきます。

個別施策名	市営墓地
施策内容	・返還区画の状況を把握し、新規区画として再募集します。 ・乙川一色墓地は、無縁墳墓を整理し新規区画を整備します。 ・老朽化や危険性のある箇所を計画的に整備し、樹木管理や雑草除去など適切に維持管理を行います。 ・利用状況や墓地需要を的確に捉え、区画を安定供給するための墓地管理計画を策定します。
行政への提言	①使用者不明区画の早期解消に向けての法的手段の行使。 ②受益者負担を踏まえた今後の墓地のあり方の検討。 ③使用者不明区画の早期解消に向けての法的手段行使の受け皿として、無縁仏の供養施設の整備。
市長からの回答	①平成30年度までに北谷・北部墓地を、平成31年度から平成32年度までに有脇・乙川一色・成岩・黒石墓地の使用者不明区画への置手紙、継承手続きを進めます。平成30年度は、使用者不明区画の調査や承継手続等で事務量の増加が見込まれる為、臨時職員（半日）1名を増員する予定です。墓石等個人財産の処分について、顧問弁護士に相談等し、適正に対処します。 ②受益者負担としての墓地管理料導入を踏まえた墓地管理計画の策定に向け、有識者・市民等による委員会を組織し、意見をとりまとめた後、パブリックコメントを実施します。 ③墓地管理料導入後、無縁墓地を新たに設置します。

# 11月臨時会のあらまし

11月臨時会は、11月6日から14日までの9日間で開催しました。

初日は、専決処分承認について、報告及び内容の説明があり、その後、委員会付託を省略し、採決を行い、承認することと決定しました。

次に議案第68号（※下段参照）について提案説明の後、議案に対し市長が意見を述べました。

その後、議案第68号に関する条例制定請求代表者への意見を述べる機会については、日時、場所、意見を述べる時間を決定し、代表者へ告示を行いました。

その後、議案第68号に関する条例制定請求代表者、浅野麻里奈氏・上原大輔氏・村井雅彦氏の3名の方による意見陳述を行いました。引き続き、議案に対する質疑が行われ、所管の常任委員会に付託し、散会となりました。

付託を受けた総務委員会では11月8日に委員全員出席のもと慎重審査し、採決の結果賛成者なしの否とすることに決定しました。

11月14日（最終日）は、総務委員会から審査の経過と結果について報告を受け、討論を行いました。討論には5名の議員が議案に対し反対の立場で討論を行いました。討論の後、採決を行い、賛成議員なしにより、議案第68号は否決され会議を閉会しました。

## 議案第68号 半田市立半田病院の移転新築予定地を問う住民投票条例について（抜粋）

第1条 この条例は、半田市立半田病院の新築移転場所について、市民の意思を明らかにし、もって市政の民主的かつ健全な運営を図ることを目的とする。

### （住民投票の実施）

第2条 住民投票に付する事項は、半田市立半田病院の移転新築場所として、市職員駐車場と知多半島道路インター周辺土地のどちらを望むのか、市民の意思を明らかにするため、市民による投票（以下「住民投票」という。）を行う。  
2 住民投票は市民の意思が正しく反映されるものでなければならぬ。この条例の解釈及び運用は、市民の意見表明の自由を保障するともに、

市民の意思形成の機会拡大に資するよう、これを行わなければならない。

## ぜひ本会議を ご覧ください

11月臨時会の様子は条例制定請求代表者による意見陳述も含め録画映像を動画配信サイト「YouTube」にて配信しています。



## 議案第68号に 対する反対討論 （5名）

澤田 勝議員

市長が「病院建設地として職員駐車場を断念する」との発表により、駐車場案が住民投票の選択肢としてなくなるならば、この住民投票は不成立になります。このことは、請求代表者も意見陳述で、同様の趣旨のことを述べておりました。よって、住民投票を実施することは適切ではない、との判断により議案第68号は反対します。

山本佳代子議員

住民投票条例（案）は「職員駐車場案」と「知多半島インター近く」のどちらを望むかとあり、市長の「職員駐車場案」を断念するとの発言で、審議する必要が無くなった為です。住民投票は「個別の政策に当局や議会とのかい離があれば、住民の意思を直接反映させる唯一の手段」であり、議会としても条例制定にむけて議論を進めるべきです。

山本半治議員

条例（案）では予定地を二者択一とし、一方が具体的な場所を示しているがもう一方は示していない。これでは市民は公平な判断ができないと考える。また、新病院建設までは、場所・費用・期間・病院経営・職員確保等複雑な問題が含まれており住民投票からでは市民の意思を正しく把握することは困難と考える。依って反対する。

小栗佳仁議員

病院建設候補地の市職員駐車場と高台移転を住民投票により決する内容です。病院建設候補地の市職員駐車場は、理論上最大の被害想定でも浸水はないこと、液状化対策などは、十分対応が可能であることから、移転理由は不明であります。よって、この条例制定に反対致します。

中川健一議員

市議会にて住民投票条例の請求者より「市長の英断により、選択肢のうちの一つ、職員駐車場案が廃案となり私たちの作成した条例案は成立しない状態となったと考えます。」との意見陳述がありました。

条例制定請求者が成立しない状態になった、と否定する条例案に賛成するのもおかしい話ですので、反対致します。





# 半田市議会の魅力とは？

半田市で取り組んでいる先進事例、魅力的な事業を調査・研究の為、毎年県内外の多くの市町村議員が視察に訪れています。

調査事項には、「マイレポはんだ」、「新庁舎建設」、「総合型地域スポーツクラブ」などが挙げられますが、中には半田市議会の取り組みを参考にしたい、と調査に訪れる議会もあります。

ここでは半田市議会の取り組みをご紹介します。

## 半田市議会の独自の取り組みその1

### 閉会中の調査事項

半田市議会の委員会は、議案審査の他に調査事項を定め、年間通じて調査・研究を行い、最後に提言としてまとめ、本会議で報告しています。委員全員で調査・研究を行うことで会派を超えた意見交換や協議を重ね、市に提言を行うことができます。

## 半田市議会の独自の取り組みその2

### 事業評価

半田市議会では市役所が前年度に行った事業が、市民の為に役立ったのか評価し、その評価結果を翌年度予算編成に反映していただくよう、市長に対し要望しています。なお、今年度の事業評価とそれに対する市の回答について、その一部を6、7ページに掲載していますので、ぜひご覧ください。

## 半田市議会の独自の取り組みその3

### 議会報告会

半田市議会では毎年3月定例会と9月定例会終了後に議会報告会を開催しています。平成23年度からスタートしており、以後、開催時期や開催場所、内容を考えながら実施し、今のスタイルとなっています。



視察受入れ時の様子

## 半田市議会のこんなところも・・・

### 議場及び議会フロア

ご存じのとおり平成27年1月の新庁舎完成に伴い、議場及び議会フロアも一新されています。半田市では傍聴席のバリアフリー化に加え、議場の質問席、答弁席を対面式で設けており、参考に見学される議会も多数あります。

## 本会議会議録・委員会(予算・決算審査)会議録閲覧のご案内

市政に関する一般質問や、議案の提案説明、討論、委員会審査経過と結果の報告など、本会議や、各常任委員会における審査の詳細なやりとりは、市議会ホームページの会議録検索システム、または半田市立図書館と亀崎図書館で閲覧することができます。ぜひご利用ください。

(12月議会分について3月頃よりご覧いただけます。)

会議録検索システムは、半田市ホームページ<http://www.city.handa.lg.jp/>の、本会議会議録の検索からご覧ください。

# 議会報告会を開催します

日 時／平成30年4月5日(木) 午後7時00分～午後8時30分

場 所／アイプラザ半田 研修室(2階)

内 容／3月定例会 upper 議案の概要、結果及び意見交換会等

皆さんお誘いあわせのうえ、ぜひお越しください

## 3月定例会の予定

# 2月20日(火)から3月23日(金)

※会期中の日程は約一週間前の会議で決定します。



議 場



傍聴ロビー

## 傍聴へどうぞ

本会議は、議場傍聴受付で氏名・住所を記入していただくだけで傍聴することができます。議会日程を議会事務局でご確認の上、是非傍聴にお出かけください。(☎84-0694)

## あ と が き

平成30年を迎え、初の市議会だよりであると共に記念すべき200号の発行となりました。

今年の干支は戌(いぬ)です。「酉」が収穫できる状態だとすれば、「戌」は収穫後の更なる段階へのステップだと考えられています。

まさに昨年の「はんだ山車まつり」は市民の皆様にとっても収穫の年であったのではないのでしょうか。今年はその収穫を活かし、更に素晴らしい年になりますよう祈念いたします。

### 広報広聴委員会

- 委員長 鈴木好美
- 副委員長 竹内功治
- 委員 小栗佳仁・鈴木幸彦  
山本半治

### 編集・発行 半田市議会

〒475-8666  
半田市東洋町2-1  
TEL 0569-04694  
FAX 0569-71855  
E-mail: gij@city.handa.lg.jp